

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

*科目 No.	2913
---------	------

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催 方法	<input type="checkbox"/> 対面（—————）	
				<input type="checkbox"/> オンライン（同時・録画・資料提示）	
				<input checked="" type="checkbox"/> その他（未定）	
	正式科目名 副題	世界経済論		配当年次	2・3
				受入学年	
	学問分野	番号	23	名称	社会科学系 経済学
3. 担当教員名	秋山 誠一				
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2022 年 9 月 ※調整中 曜日 : ~ :				
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人	9. 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>【世界経済論では何を学ぶのか？】 貿易の歴史と基礎理論を学び、世界経済の発展と、貿易の国際的なルールの成立、発展を見ていきます。そのなかで各国の経済は強い関係を持って動いていることを学びます。あわせて日本の経済の発展と貿易の問題点を考えます。東アジアと日本、アメリカの貿易構造の現実と問題点も理解できます。そうして私たちの生活に及ぼす影響を少し秩序立てて学んでいきます。</p> <p>【なぜ世界経済論を学ぶのか？】 世界経済というと私たちの生活とあまり直結していないように見えますが、身の回りにある商品はほとんど日本で作られているものでありません。以前によく言われた加工貿易立国という言葉も日本の実態には合わなくなっています。日本企業は外国の工場で部品を作り、それを使って製品を作り、その国で販売したり、ほかの国へ輸出したり、日本に逆輸入して儲けています。それが私たちの生活や日本経済、私たちの生活の就職に大きな影響があります。</p> <p>【到達目標】 グローバル化の進展と現代世界経済の理論と現状を、理解を少し秩序立てて考えるための知識を得ます。そして、世界経済に関する基本的知識を自分の言葉で説明できることを目指します。</p> <p>【授業の内容】 第1回 世界経済とは、私たちの生活との関係は 第2回 世界経済はどのようにできあがったか、大航海時代、産業革命と農工国際分業 第3回 自由貿易とは真理、理論でなく貿易政策の一つ、自由貿易は強い者の論理 第4回 保護貿易と公正貿易(フェアトレード) 第5回 第1次世界大戦の経済的要因 第6回 両大戦間期の世界経済 第7回 第2次世界大戦後の国際経済体制 第8回 GATT とは何か 第9回 途上国は自由貿易で経済発展したか（南北問題の発生） 第10回 アメリカ経済の特徴 第11回 日米経済摩擦の発生。 第12回 EUへの発展—ドイツの工業とフランスの農業の結婚 第13回 WTOの成立で私たちの生活はどう変わったか 第14回 多国籍企業と私たちの生活 第15回 世界経済のまとめ</p>				
11. 試験・評価方法	3分の2以上出席すること。出席点15点、課題提出35点、試験50点の総合評価です。				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項	参考文献： 小林尚朗、篠原敏彦、所康弘編『貿易入門—世界と日本が見えてくる』大月書店、2017年 そのほか必要に応じて紹介します。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	<input checked="" type="checkbox"/> 否		
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	<input checked="" type="checkbox"/> 否		

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。